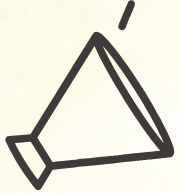


やまなしハッピーボイス

Happy Voice



2024 $\frac{1}{1}$
No.255

謹賀新年



元気な声、明るい声が聞こえてくる
JA全農やまなしの広報誌です。
どうぞよろしく！

 JA全農やまなし



生産基盤確立に全力 県本部 元気な産地づくりを目指す



全農山梨県本部県本部長 梶原 一明

新年明けましておめでとうございます。

新しい年が皆様方にとりまして、実り多く輝かしい年となりますよう、心よりお祈りいたします。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染症による生活様式・消費形態の変化、穀物・資材原料などの国際的な調達競争の激化、猛暑や台風被害などに悩まされ、生産者並びに農業団体の皆様にとりましては苦労の絶えない年となりました。

このような厳しい環境下でありましたが、生産者・JA・農業団体の皆様の弛まぬご努力により、計画を達成することができました。多くの関係する皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

本県農業をとりまく環境は、常態化する異常気象、生産農家の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加に伴う農業生産基盤の弱体化が懸念されております。

私どもは、5年後、10年後の将来を見据えて実施すべき事項として、「生産基盤の確立」、「販売力の強化」、「元気な産地づくりへの支援」、「JAへの支援強化」を掲げております。

こうした中で、JAや生産者の皆様方の要望に応える全農として、生産技術の向上、生産資材コストの抑制など、「生産者の手取り最大化」に貢献するとともに、担い手経営体や多様な担い手のニーズに即した事業展開、青果物の加工原料取引の開拓と県産果汁を使用した商品開発を進め、今後も施策の実現に向けて役職員一同取り組んでまいります。

この1年が本県農業にとって良い年であることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

野球 優勝はJA共済連山梨 サッカー 優勝はJAフルーツ山梨

第23回山梨県JAグループ親善野球大会は11月18、26日の2日間、笛吹市と甲斐市内のグラウンドで行われ、全10チームが参加しました。JA全農やまなしはJA共済連山梨と対戦。優勝は、JA共済連山梨でした。

また、12月9日は第19回JAグループ山梨親善サッカー大会が笛吹市内のグラウンドで行われ、全8チームが参加しました。JA全農やまなしはJA山梨厚生連と対戦。優勝は、JAフルーツ山梨でした。

両大会とも、JAならびに連合会職員の親睦を図り、組織の結束を強化することを目的に行われました。



JA全農やまなし野球部



JA全農やまなしサッカー部

農機資材課 八田事務所で製品研修会を開催

JA担当者 トラクターなど試乗

農機資材課は12月7日、南アルプス市・八田事務所で4年ぶりとなる、「令和5年農業機械製品研修会」を開催しました。

今回の研修会は、県内JAの農業機械担当者を対象に、三菱農機販売(株)や(株)丸山製作所など農業機械メーカー7社の担当者がトラクターや草刈り機などを用意して新製品を中心に説明を行い、農業機械担当者23人が参加しました。

各メーカーの説明が終わるごとに、参加者は製品を手に取り重量や使用方法を確認していました。また、トラクターの試乗ではメーカー担当者が性能などを丁寧に説明しました。

農機資材課の担当者は「作業効率アップが期待

される商品ばかり、製品の優位性を理解していただき、来年2月の農業機械大展示会の弾みにしたい」と話しました。



メーカー担当者から説明を受ける参加者

担い手支援に取り組む

TAC 地域の農業振興も課題

県下でTACシステムを導入しているJAと山梨県本部総合支援課は、11月16、17日に横浜市内で開かれた「TACパワーアップ大会2023」に参加しました。

この大会は、地域農業の担い手に出向くJAの「TAC」の活動事例の共有化や活動成果を称えるものです。TACの取り組みを開始してから15年目となる今大会は、新横浜の本会場と各県域に設置されたサテライト会場での開催になり、全国から約260人が参集しました。

今回の大会では、優秀な活動をしているJA・TACの取り組みの最終審査・表彰や受賞JAの事例発表、基調講演、分科会が開かれました。

参加者分科会では「事業間連携」「農業労働力支援」等をテーマに全国各地のTACメンバーが熱い論議を交わしました。

また、休憩時間を活用して各県域会場と中継を繋ぐ企画もあり、各県域におけるTAC活動や特産品等についてスピーチをおこない、大会を新横浜だけでなく各県域会場からも盛り上げていました。

大会を通じて、「“担い手に日々出向く“の原点に立ち、JAグループ一丸となって、担い手支援や地域生産振興に取り組んでいくこと」の重要性を参加者全員で再確認しました。



受賞されたみなさん

「ワインの雫」人気上々

11月13日 県庁で発売報告会開かれる

11月13日に山梨県庁で行われた、JAふえふき直営ワイナリー ニュー山梨ワイン醸造(株)と(株)不二家のコラボ商品「ワインの雫(Koshu Fuefuki demi sec)」の全国発売にともなう商品発売報告会に、JAふえふき小池組合長と梶原本部長が出席しました。

甘さ控えめのスイートチョコレートが山梨県産

甲州ワイン「Koshu Fuefuki demi sec」をそのまま入れたソースを包み込むことで、香りが際立ち、まるでワインを飲んでいるかのような味わいを楽しむことができる冬季限定の洋酒チョコレートです。

甲州ワイン「Koshu Fuefuki demi sec」は2022年7月に世界農業遺産に認定された峡東地域の果樹農業システムで作られました。



商品発売報告会に出席した関係者

こども食堂に農作物を提供

たべるJA(じゃ)んやまなし ロスなしに生産者も笑顔

山梨県本部が運営する甲府市の農産物直売所「たべるJA(じゃ)んやまなし」は10月20日、山梨県と連携して、生産者から寄付された農作物を定期的にこども食堂に提供する取り組みを始めました。

同直売所では生産者から提供された規格外品や余剰分の農作物を一時保管して、希望することも食堂に渡す役割を担います。

こども食堂を通じて困窮世帯に提供することで、多くのこどもたちに県産の農作物を味わってもらい、フードロスの削減につなげていきます。

初回の受渡日となった同日、



提供された農作物

生産者からカボチャ、トマト、柿など15品目225.3kgの農作物が提供されました。県本部では、県オリジナルブドウ品種であるブラックキングの果汁を使用した「ブラックキンググミ」も一緒に4団体のこども食堂の代表者に渡しました。

生産者は「規格外や余ってしまう農作物を活用してもらえる機会があると助かる。丹精込めて作ったので、こどもたちにおいしく食べてほしい」と話していました。

提供された農作物は、こども食堂で山梨の郷土料理「ほうとう」などの食事提供やフードパントリーで活用されました。



こども食堂で提供された「ほうとう」

清水さんが最優秀賞

シャイン品評会JA会館で開く

山梨県本部は9月21日、甲府市のJA会館で県下統一「山梨県シャインマスカット品評会(遅場の部)」を開きました。

県内3JAの遅場産地から14点の「シャインマスカット」が出品されました。

8月下旬に開いた早場の部と同様、審査員は山梨県農政部、山梨県果樹試験場、東京青果(株)と山梨県本部が務めました。1次審査で着粒数と平均糖度を測定。2次審査で房形、粒はり、果皮色などを確認し、試食で食感や香り、食味を評価しました。

審査の結果、最優秀賞には、JAフルーツ山梨の清水信義さんが選ばれました。

審査委員長を務めた梶原本部長は「どれも秀

逸な一品。大玉で房型もよく、糖度も高いものばかりだった。品評会を契機に高品質なシャインマスカットの生産に向けて、関係機関、生産者が一体となり、山梨県産シャインマスカットの価値を高めていきたい」と講評しました。

出品されたシャインマスカットは22日、東京都中央卸売市場大田市場の東京青果(株)でセリにかけられ、最優秀賞を受賞した3房入り化粧箱は、35万円で落札されました。



カラーチャートで果皮色を確認する梶原審査委員長(右)

運営委員会だより

運営委員会において、審議・承認された事項は次の通りです。

令和5年度 第1回運営委員会

開催日：令和5年4月26日

審議事項

- (1)令和5年度営農用燃料支援対策について(案)

報告事項

- (1)令和4年度3月末実績について
- (2)青果物の生育状況について
- (3)令和4年度コンプライアンス推進実施計画の取り組み状況と5年度計画について

令和5年度 第2回運営委員会

開催日：令和5年5月31日

審議事項

- (1)株式会社さんけいの取締役の推薦について(案)
- (2)フルーツキャップの供給について(案)
- (3)LPガス消費者切替阻止対策について(案)

報告事項

- (1)第47回通常総代会の開催について
- (2)青果物の生育及び販売状況について
- (3)令和5肥料年度秋肥(令和5年6月から10月)価格交渉結果について

令和5年度 第3回運営委員会

開催日：令和5年6月28日

報告事項

- (1)令和4年度事業報告について
- (2)令和4年度輸入青果物の取扱実績について

令和5年度 第4回運営委員会

開催日：令和5年7月26日

報告事項

- (1)令和5年度6月末事業取扱実績について
- (2)青果物の生育及び販売状況について
- (3)県内ホームセンターの肥料農薬価格調査の結果について

令和5年度 第5回運営委員会

開催日：令和5年9月25日

審議事項

- (1)山梨県JA農業機械大展示会の開催について(案)

報告事項

- (1)令和5年度8月末事業取扱実績について
- (2)青果物の生育及び販売状況について
- (3)旧フルーツ村施設跡地の譲渡結果について
- (4)令和5肥料年度春肥(令和5年11月から令和6年5月)価格交渉結果と肥料重点実施施策について
- (5)フルーツキャップの供給について



旬の県産農産物紹介と

野菜ソムリエ上級プロ

超★簡単クッキング!

加藤さんの「やまなしを食べよう」

このページは、毎週金曜日 AM11 時 00 分 FM-FUJI「Awesome! やまなしを食べようコーナー」で紹介された食材のレシピをご紹介します。

今月の食材【かぼちゃ】

A C E を備えたスーパーベジタブル！

かぼちゃについて

日本で栽培されているかぼちゃは「西洋かぼちゃ」「日本かぼちゃ」「ペポかぼちゃ」の3種類に大きく分類されます。現在流通しているかぼちゃの多くを占めるのが西洋かぼちゃ。でんぷん質が多く、ほくほくとした食感と甘みが強いのが特徴。坊ちゃんかぼちゃや栗マロンかぼちゃなどがあります。日本かぼちゃはでんぷん質が少なく、味は淡泊で舌触りがねっとりしているのが特徴。煮崩れしにくいので煮物などに向いていて、黒皮かぼちゃ、バターナッツかぼちゃなどがあります。ペポかぼちゃはズッキーニや金糸瓜などがあり、北米南部の乾燥した地域で作られた品種の総称になります。

栄養について

ビタミンの中でも強い抗酸化力を持つのがビタミンA、C、E。ビタミンE（ACE）と呼びます。緑黄色野菜に多く含まれるビタミンACEは単独よりも一緒に摂ることで相乗効果を得ることができます。かぼちゃの果肉の黄色やオレンジ色は体内でビタミンA

に変わるβカロテン、粘膜や皮膚の細胞を強くしたり、抗酸化作用により免疫力を高める働きがあります。さらに免疫力を高めたりコラーゲンの生成に必要な成分であるビタミンC。免疫細胞を直接活性化させる働きがあるとされるビタミンEを豊富に含むエースな野菜です！かぼちゃには免疫力アップによる風邪予防、老化防止、美肌効果、むくみ改善などが期待されています。さらに食物繊維も含まれるので腸内環境を整えたり、食後の血糖値の上昇を抑える働きも期待できます。

食べ方のポイント

捨ててしまいがちな皮やワタの部分にも豊富な栄養が含まれていますので、上手に調理して食べるようにしましょう。種にも栄養が含まれていますが、そのままでは食べることができないため①種をよく洗いクッキングシートに並べてレンジで加熱して乾燥②種の端にははさみなどで切り込みを入れて殻を剥く③2をフライパンに入れ弱火で乾煎りするなどして食べることができます。また、ビタミンAとCは脂溶性なので油と一緒に摂取。ビタミンCは水溶性なので茹でるよりもレンジ加熱や蒸す、煮汁ごと頂くなどの工夫で上手に摂取しましょう。

かぼちゃ団子のお汁粉

栄養満点のかぼちゃで美味しいお汁粉を！

簡単クッキング



●作り方

- ①かぼちゃを柔らかくなるまでレンジで加熱し温かいうちにつぶし片栗粉と混ぜる。
- ②かぼちゃを丸い団子にし、お湯で茹でる。
- ③あんこを水で溶き温め②の団子を入れ、器に盛り付ける。

★ポイント

かぼちゃの皮はクッキングシートに乗せレンジで加熱すると、かぼちゃチップスができます。

水の代わりに牛乳、豆乳などを使用しても美味しくできます。

※写真はこしあんを使用しています。

●材料(2人分)

かぼちゃ(皮と種を除く) 100g
片栗粉 大5
あんこ(粒あん・こしあんはお好みで) 200g
水 200ml
塩 少々

【加藤恵美子さん】

山梨県の野菜ソムリエ第1号。現在は最高位の「野菜ソムリエ上級プロ」です。「食と農のかたりべ」などの食関連の資格を持ち、また、フルーツコンサルタントとして県内外で活躍中です。FM-FUJI 毎週金曜日 AM11:00～「Awesome!・やまなしを食べようコーナー」に出演中。

【FM-FUJI HPアドレス】 <https://www.fmfuji.jp>



未来につなぐ山梨農業を応援します

山梨県 JA 農業機械

第46回

大展示会

スプリングフェア2024

令和
6年

2/21

水

22

木

9:30~15:00

9:30~14:30

会場

アイメッセ山梨

甲府市大津町2192番地8

TEL:055-243-1811

営農支援企画

- ◆JAグループ山梨推奨型式展示コーナー
- ◆農業資材・施設相談コーナー

会場内外では食べ物の提供はありません。
飲食は出来ませんので、ご理解とご協力をお願いいたします。

主催●県下JA・JA全農やまなし 協賛●系統農業機械メーカー

●掲載中の情報は予告なく変更になることがあります。●また、天候等により終了時間が前倒しの可能性があります、あらかじめご了承ください。

会場案内図

